


<p>教材名</p> <p>ティッシュボックスケース</p>	<p>備考</p>
<p>教材の写真</p> 	
<p>対象 (学習グループ例)</p>	<p>実習 縫製・クラフト班 (ミシンが一人で使える生徒、教師と一緒にミシンが使える生徒。)</p>
<p>目的 ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 印つけができる。 • ミシンで印を意識し、直線縫いができる。 • ミシンで直角に曲がることことができる。 • アイロンを安全にかける。 • ボタン付けができる。 • 教師の説明に耳を傾け、集中して作業する。
<p>使用方法 使用上の留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 安全に作業ができるように配慮する。 • 縫い代から多少ずれても、ティッシュが入る大きさにしているが、できあがり線を意識してミシンをらせるよう、支援する。 • この作品に取り組む前に、直線縫いの練習を十分に行う。 • 1つ目は両面同じ布、2つ目はリバーシブルなどにして、継続して作品を作ることで、ねらいとした技術が定着できるようにする。
<p>備考 (材料等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 布は、39 cm×75 cm (両面同じ) 1 枚、もしくは 39 cm×39 cm (リバーシブル) 2 枚。縫い代は、15 cm竹定規の幅。正確にミシンが使える場合は、36 cm×36 cmで、縫い代 5mm に挑戦しても良い。 • 返し口は、ミシンのステッチでふさぐ。 • ボタンはくるみボタンにすると、個性を出せる。